

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-239224

(43)Date of publication of application : 31.08.1999

(51)Int.Cl.	H04M	9/00
	H04N	7/18
	// G08B	25/04

(21)Application number : 10-296733 (71)Applicant : YEWMAN MARK ROWLAND

(22)Date of filing : **19.10.1998** (72)Inventor : **YEWMAN MARK ROWLAND**

(30)Priority

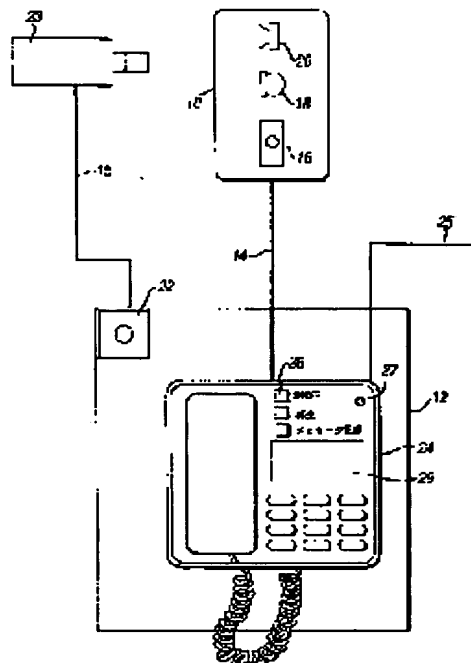
Priority number : 97 9722559 Priority date : 24.10.1997 Priority country : GB

(54) SECURITY SYSTEM AGAINST TRESPASS THROUGH DOOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a security system against trespass through a door that is provided with an integrated telephone reply device that gives a message to a visitor and records a message from the visitor.

SOLUTION: The system consists of a door unit 10 that incorporates a call device 16 and a control unit 12. The control unit 12 is provided with a message memory unit 24 that gives a message for a visitor recorded in advance when the call device 16 of the door unit 10 is operated and records a message of a visitor by the door unit. The message memory unit 24 is part of an integrated telephone reply device, makes a phone call, receives a phone call via an electronic communication link 25, and transmits records a phone message.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(書誌+要約+請求の範囲)

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
 (12)【公報種別】公開特許公報(A)
 (11)【公開番号】特開平11-239224
 (43)【公開日】平成11年(1999)8月31日
 (54)【発明の名称】ドア進入セキュリティシステム
 (51)【国際特許分類第6版】

H04M 9/00
 H04N 7/18
 // G08B 25/04

【FI】

H04M 9/00 H
 H04N 7/18 H
 G08B 25/04 E

【審査請求】未請求

【請求項の数】11

【出願形態】OL

【全頁数】5

(21)【出願番号】特願平10-296733
 (22)【出願日】平成10年(1998)10月19日
 (31)【優先権主張番号】9722559.3
 (32)【優先日】1997年10月24日
 (33)【優先権主張国】イギリス(GB)
 (71)【出願人】

【識別番号】598143664

【氏名又は名称】マーク・ローランド・ユーマン

【住所又は居所】イギリス国エセックス・アイジー8・0アールエヌ, ウッドフォード・グリーン, ザ・ホーソーンズ・15

(72)【発明者】

【氏名】マーク・ローランド・ユーマン

【住所又は居所】イギリス国エセックス・アイジー8・0アールエヌ, ウッドフォード・グリーン, ザ・ホーソーンズ・15

(74)【代理人】

【弁理士】

【氏名又は名称】古谷 馨(外2名)

(57)【要約】

【課題】訪問者にメッセージを伝え、また、訪問者からのメッセージを記録することが可能な一体型の電話応答装置を備えたドア進入セキュリティシステムを提供する。

【解決手段】システムは、呼び出し装置(16)を組み込んだドアユニット(10)と制御ユニット(12)から構成される。制御ユニット(12)は、ドアユニット(10)の呼び出し装置(16)が操作されたときに、あらかじめ記録された来客向けメッセージを訪問者に伝えるための、及び、ドアユニットで訪問者によって提供される来訪メッセージを記録するためのメッセージメモリユニット(24)を備えている。メッセージメモリユニット(24)は、一体型の電話応答装置の一部であり、電気通信リンク(25)を介して、電話をかけること及び受けることが可能で、また、電話メッセージを伝えること及び記録することが可能である。

【特許請求の範囲】

【請求項1】呼び出し装置(16)を組み込んだドアユニット(10)、前記ドアユニットから離れた制御ユニット(12)、及び前記ドアユニット(10)と前記制御ユニット(12)の間の通信を確立するための手段から構成されるドア進入セキュリティシステムであって、前記制御ユニット(12)は、前記ドアユニット(10)の前記呼び出し装置(16)を操作したときに、あらかじめ記録された来客向けメッセージを訪問者に伝え、さらに、前記ドアユニットで訪問者によって提供される来訪メッセージを記録するためのメッセージメモリユニット(24)を備えており、前記メッセージメモリユニット(24)は、一体型の電話応答装置の一部であって、電気通信接続(25)を介して、電話をかけることと電話を受けること、及び、電話メッセージを伝えることと記録することが可能であるという特徴を有する該システム。

【請求項2】訪問者に伝えられる前記あらかじめ記録された来客向けメッセージが、可聴音であることからなる請求項1のドア進入セキュリティシステム。

【請求項3】前記メッセージメモリユニット(24)が「スタンバイ」モードに切り換え可能であること及び「スタンバイ」モードから切り換え可能であることからなる請求項1または請求項2のドア進入セキュリティシステム。

【請求項4】ドアロック機構(23)及び、前記ドアロック機構の解除を作動させるための手段(22)からさらに構成され、前記ドアロック機構(23)は、前記メッセージメモリユニット(24)が「スタンバイ」モードに切り換えられているときは、ロック位置にあることからなる請求項3のドア進入セキュリティシステム。

【請求項5】前記ドアロック機構の解除を作動させるための前記手段(22)が、前記制御ユニット(12)に配置されていることからなる請求項4のドア進入セキュリティシステム。

【請求項6】前記メッセージメモリユニット(24)を、遠隔で、「スタンバイ」モードに切り換えること及び「スタンバイ」モードから切り換えることを可能にする手段をさらに備えることからなる請求項4または請求項5のドア進入セキュリティシステム。

【請求項7】前記メッセージメモリユニット(24)を、遠隔で、「スタンバイ」モードに切り換えること及び「スタンバイ」モードから切り換えることを可能にする前記手段が、前記電気通信接続(25)を備えることからなる請求項6のドア進入セキュリティシステム。

【請求項8】前記メッセージメモリユニット(24)が、あらかじめ記録された複数の別々の来客向けメッセージを格納することができることからなる請求項1～7のいずれかに記載のドア進入セキュリティシステム。

【請求項9】訪問者に伝えられる前記あらかじめ記録された来客向けメッセージが、時間及び日付に応じて選択されることからなる請求項8のドア進入セキュリティシステム。

【請求項10】前記訪問者に伝えられる前記あらかじめ記録された来客向けメッセージが、前記ドアユニット(10)の操作方法に応じて選択されることからなる請求項8のドア進入セキュリティシステム。

【請求項11】前記ドアユニット(10)が、訪問者識別装置を備えることからなる請求項10のドア進入セキュリティシステム。

詳細な説明

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ドア進入セキュリティシステムに関連する。特に、本発明は、住宅や事務所のような家庭用の敷地や商業用の敷地への進入をコントロールするためのドア進入システムに(これ専用というわけではないが)関連する。

【0002】

【従来の技術】周知のドア進入セキュリティシステムは、ドアユニット、制御ユニット、ドアユニットと制御ユニットの間の音声通信を確立するための手段、ドアロック機構、制御ユニットからドアロック機構の解除を作動させる(トリガする)ための手段、から構成されている。訪問者は、ドアユニット上の呼出ボタンのような、押すと制御ユニットによって可聴信号を発生する呼出装置をドアユニットで操作する。それから、システムを操作する人は、訪問者と音声通信を行い、通常は、訪問者がだれであるか及び／又は訪問者の仕事の種類を確かめる。中に入ることが許可された場合は、システムを操作する人は、次に、ドアロック機構を解除して訪問者が中に入ることができるようにする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このようなシステムには、ドアを開ける操作ができる人がいないときは、訪問者は何ら有用な情報を得ることなく、立ち去ってしまうという不利な点がある。訪問者は、呼出ボタンを押し続けるべきか、他のドアから入ろうとすべきか、別の時間に訪問すべきかわからない。

【0004】本発明の目的は、これらの不利な点を克服し、さらに、他の用途において有利なシステムを提供することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、呼び出し装置を組み込んだドアユニット、ドアユニットから離れたところにある制御ユニット、及びドアユニットと制御ユニットの間の通信を確立するための手段から構成されるドア進入セキュリティシステムが提供されるが、このシステムは、その制御ユニットが、あらかじめ記録された来客向けメッセージをドアユニットの呼び出し装置を操作したときに訪問者に伝え、また、ドアユニットで訪問者の来訪メッセージを記録するためのメッセージメモリユニットを備えており、このメッセージメモリユニットは、一体型の電話応答装置(combined telephone and answering machine)の一部であり、電気通信接続を介して電話をかけたり、受けたり、また、電話メッセージを伝えたり記録したりすることが可能であるというところに特徴がある(以下、本明細書では、電話応答装置とメッセージメモリユニットを同義で使用する)。

【0006】英国特許出願第2256112(Solomons 他)には、訪問者がドアのベルを鳴らすと始動する応答システムが記載されている。訪問者は、電話応答装置から伝えられる指示に従ってメッセージを残すことができる。そのメッセージは、今度は、電話応答装置に伝えられて記録される。

【0007】米国特許第5303300(Eckstein)には、ユーザがその時間に在宅しているかどうかに関係なく、玄関口にいる人とユーザが話すことができるようにしたセキュリティドアホン装置が記載されている。この装置は、ダイヤルボタンを備えており、このダイヤルボタンは、押されると、ボタンが押された時間帯に応じて、あらかじめ決められた電話番号の一つを選択して自動的に電話をかける。1実施態様では、家に誰もいないときには、訪問者は応答装置にメッセージを残すことができる。

【0008】米国特許第5657380(Mozer/Sensory Circuits Inc.)には、音声応答を備えた対話型のドア応答メッセージ装置が記載されている。このシステムは、無線接続を介して通信を確立する屋内ユニットと屋外ユニットを備えている。このシステムは、音声認識と音声合成を使用して訪問者と対話する。訪問者に対してメッセージを再生し、訪問者からのメッセージを記録することに加えて、このシステムは、また、あらかじめ決められた問い合わせに対する訪問者の応答を屋内に放送する。これによって、屋内にいる人は、訪問者に知られることなく訪問者を選別することができる。1実施態様では、システムは、システムと電話の間の通信を確立するために電話インターフェースを使用する。

【0009】本発明に基づくシステムのメッセージメモリユニットは、通常はビル内に配置されるか、そうでなければ、遠く離れた場所に配置されるだろう。例えば、ドアユニット内またはその近くに表示ユニットを組み込むことによって、伝えるべき来客向けメッセージを画像としてアレンジすることができるけれども、訪問者に伝えられるあらかじめ記録された来客向けメッセージは、通常は可聴音

(ここでは音声)である。

【0010】好ましい実施態様においては、メッセージメモリユニットは、「スタンバイ」モードへの切り換え及び「スタンバイ」モードからの切り換えが可能である。「スタンバイ」モードのときには、ドアユニットの呼び出し装置が操作されたときに、あらかじめ記録された来客向けメッセージが訪問者に伝えられる。この場合、来客向けメッセージは、自宅の場合には、「今、ドアのところまで行くことができます。音声の後に、お名前とメッセージをどうぞ」というようなものであり、商業用のビルの場合には、「ビルは閉まっております。お名前と電話番号をお残しの上、明日の9時以降に再度おいで下さい」あるいは、「ご用の方は、電話番号××××××の中央セキュリティ部にご連絡下さい」というようなものである。「オフ」モードの場合は、来客向けメッセージは伝えられない。呼び出し装置の操作に応答できる人がいる場合には、メッセージメモリユニットは通常「オフ」モードにされるだろう。メッセージメモリユニットは、ドアを開けることなく、呼び出し装置を反復操作した後、「スタンバイ」モードに自動的に切り換えることができる。

【0011】しかしながら、代替案として、応答できる人がいる場合でも来客向けメッセージを伝えることができるように、メッセージメモリユニットを常に「スタンバイ」モードにしておくことができる。この場合には、「2階の受付までおいで下さい」というような来客向けメッセージが伝えられる。メッセージメモリユニットを常時「スタンバイ」モードにしておくことは、話すのに障害を持つ人々のための家庭状況や、訪問者を診療する必要のある場合においても有効である。

【0012】ドアロック機構は、制御ユニット内に通常配置されるドアロック機構の解除を作動させるための手段と共に、通常提供される。理想的には、ドアロック機構は、メッセージメモリユニットが「スタンバイ」モードに切り換えられているときは、ロック位置にある。従って、応答可能な人がいない場合には、ドアを開けることはできない。メッセージメモリユニットがオフで、応答できる人がいるときだけ、ドアを開けるよう作動させることができる。

【0013】メッセージメモリユニットを遠隔操作して、「スタンバイ」モードに切り換えたり、「スタンバイ」モードから切り換えることを可能にする手段を提供することができる。この手段は、メッセージメモリユニットが安全な場所に取り付けられている場合に特に有効であり、また、メッセージメモリユニットをビルの外から「スタンバイ」位置に切り換えることができるようにするのに特に有効である。メッセージメモリユニットを遠隔から、「スタンバイ」モードに切り換え、また、「スタンバイ」モードから切り換えることを可能にする手段は、電気通信接続、無線接続、あるいは、専用ケーブルまたは共有ケーブルによる接続を備えている。

【0014】好ましい実施形態では、メッセージメモリユニットは、あらかじめ記録された別々の来客向けメッセージを複数格納することができる。従って、訪問者に伝えられるあらかじめ記録された来客向けメッセージは、時間及び日付に応じて、あるいは、ドアユニットの操作方法に応じて選択されるようにすることができる。後者の場合には、ドアユニットは、キーパッドやカード読み取り装置のような訪問者識別装置を備えることができる。従って、秘密事項取り扱い許可を受けたある特定の訪問者には、「中に入るためには、キーパッドで××××を入力して下さい」あるいは、「中に入るためには、×××××に電話して下さい」というような特別の来客向けメッセージを伝えることができ、一方、許可を受けていない訪問者には、単に、「ビルは閉まっています」というような別の来客向けメッセージが伝えられるだろう。

【0015】メッセージメモリユニットは、専用ケーブルや共有ケーブル、あるいは、無線接続のようないくつかの方法でドアユニットに接続することができる。固定接続が好ましい。

【0016】メッセージメモリユニットは、あらかじめ記録した一つまたは複数の来客向けメッセージや来訪メッセージを、テープやプログラム可能なチップのような半導体デバイスに記録することができる。

【0017】ドアユニットで訪問者によって提供されて、メッセージメモリユニットに記録された来訪メッセージは、その後すぐに、直接に、または、例えば電気通信接続を介して遠隔でチェックすることができる。

【0018】本発明について、この後さらに添付の図面を参照しつつ、単なる一例を通して説明する。

【0019】

【発明の実施の形態】図1に示すドア進入セキュリティシステムは、ドアユニット10、専用ケーブル14を介してドアユニット10に離れて接続された制御ユニット12から構成されている。ドアユニット10は、呼び出しボタン16、マイク18及びスピーカユニット20を備えている。周知の方法で、これらの機能を使用して、ドアユニット10と制御ユニット12の間で音声通信を確立することができる。ドアユニット10は、進入の安全確保が要求される(図示していない)ドアに、あるいはその近くに配置される。通常は、これは、ビルのドアの外側であり、商業用のビルの場合には特にそうであ

る。制御ユニット12は、専用ケーブル15によってドアロック機構23に接続された、ドア解除ボタン22を備えている。ドア解除ボタン22を操作すると、例えば、ドアロック機構23を制御するソレノイドに電力を供給することができるようにすることによって、周知の方法でドアロック機構23の解除が作動される。

【0020】装置のいくつかの用途については、ドア解除ボタン22及び、そのドア解除機構23との接続を省くことができる。これらの場合には、進入が許可されたときには、ドアロック機構23は手で解除することができる。

【0021】電気通信接続25を介して、電話をかけたり受けたり、また、電話メッセージを伝えたり記録したりすることができる標準的な一体型の電話及びデジタル電話応答装置（以下では、デジタル電話応答装置または、単に、電話応答装置とも記載）24は、制御ユニット（ここでは、制御装置とも記載）12に組み込まれている。デジタル電話応答装置は、その内部のテープあるいは半導体デバイスに一つ以上のあらかじめ記録した来客向けメッセージを格納している。デジタル電話応答装置24は、「オン／オフ」スイッチ26を手で操作することによって「スタンバイ」モードに切り換えることができ、また、「スタンバイ」モードから切り換えることができる。制御装置12は、デジタル電話応答装置24が「スタンバイ」モードに切り換えられているときは、ドアロック機構23がロック位置にあるということを通常は保証するだろう。電話応答装置24はドアユニット10と通信して、呼び出しボタン16が操作されたとき、あらかじめ記録された音声の来客向けメッセージをスピーカーユニット20に伝え、ドアユニット10でマイク18を介して訪問者によって提供される来訪メッセージを記録する。電話応答装置24には、一つ以上の来訪メッセージが記録されているときに、そのことを示す赤色のLEDランプ27が組み込まれている。電話応答装置24はまた、マイク及びスピーカーユニット29を備えており、これらによって、ビル内の人は、受信しながら記録されつつある来訪メッセージを聞くことができ、また、記録された来訪メッセージをその後すぐに再生して聞くことができ、また、生の話し言葉で、ドアユニット10で訪問者に伝える来客向けメッセージに追加したり、それを交換したりすることができ、さらに、訪問者に伝える来客向けメッセージをあらかじめ記録しておくことができる。

【0022】デジタル電話応答装置24は、別々のあらかじめ記録された来客向けメッセージを複数格納することができる。訪問者に伝えるあらかじめ記録された特定の来客向けメッセージを時間と日付に応じて選択することができる。

【0023】標準的な一体型の電話応答装置24は、また、通常の電気通信機能を提供するので、この装置は2つの用途に使用できる。

【0024】システムへの電力は、制御ユニット12内に収容された（図示していない）バッテリーによって供給される。代替の実施態様では、システムへの電力はAC電源で動作するトランス装置（mains powered transformer unit）によって供給される。

【0025】代替の実施態様では、電気通信接続25によって、電話応答装置を遠隔で「スタンバイ」モードに切り換えたり、「スタンバイ」モードから切り換えたりすることができる。

【0026】さらに他の実施態様では、ドアユニットは、トーンパッド（tone pad）のような訪問者識別装置を備えることができる。電話応答装置が、あらかじめ記録された別々の来客向けメッセージを複数格納している場合には、訪問者に伝えるあらかじめ記録された特定の来客向けメッセージが、ドアユニットのトーンパッドの操作方法に応じて選択される。

【0027】

【発明の効果】本発明によれば、訪問者がドアユニットの呼び出し装置を操作したときに、あらかじめ記録しておいた来客向けメッセージを訪問者に伝えることができ、また、ドアユニットに対して訪問者が提供した来訪メッセージを記録することができるドア進入セキュリティシステムを提供することができる。さらに、このシステムでは、電話と応答装置が電話応答装置として一体化されており、通常の電話機能の他に、電話メッセージを伝えたり記録することが可能である。

図面

【図1】

